SOTEC

騒音振動表示データ収録装置
SVD214/215簡単セットアップガイド

株式会社 ソーテック

梱包1:3個口にて出荷

1）本体（マイク、全天候風防）、
ピックアップカバー、
ピックアップケーブル、
ソフトCD＋動作用USBキー
スタンド止めネジ×６
取扱説明書、

付属品
ピックアップカバー、

付属品
ピックアップケーブル、
ソフトCD＋動作用USBキー
スタンド止めネジ×６
取扱説明書（ハード、ソフト）

2）スタンド
スタンド側板　×２
スタンド底板　×１

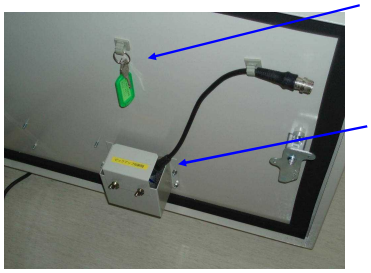
梱包2：本体　内部部品の確認

1）本体の扉を開ける

鍵上部を押して、下部を上げ、反時計廻りに回す

2）ピックアップと鍵を取り出す。

扉の内側に固定されております



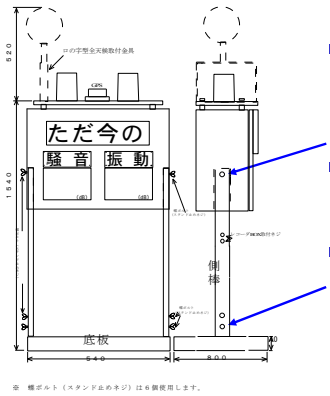
取り扱い手順

標準的な取り扱い手順について

1）スタンドを組み立てる
2）マイク、全天候風防を接続する
3）ピックアップケーブルを接続する
4）タイマーをセットする
5）自動表示に設定する
6）自動測定を開始する
7）データカードを回収する
8）データ処理（パソコン）
9）カードを初期化する
10）警報設定値をセットする
11)警報　回転灯作動時間の設定　　12）お願い

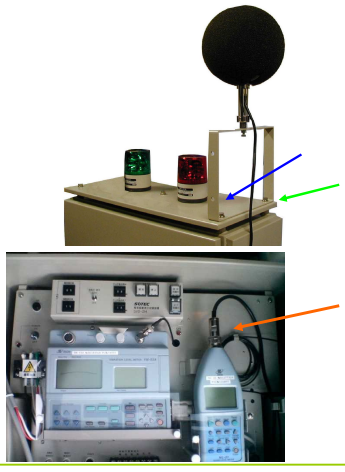
取扱1：スタンドの組み立て

底板、側板×２ を組み立て、本体をのせる



- 各板を専用の止めネジで固定する
  （上：1本×2、下：2本×2）
- 転倒防止に底板の上に土嚢などを置いて下さい
- 電源AC100Vを専用電源として本体に接続します

取扱2：マイクを取り付ける



出荷時取付済

1）騒音表示(向かって左)側の天板止めネジを外す

2）ロの字リング付マイク風防を取り付ける

天板止めネジを取り付ける

3）内部の騒音計マイク端子にマイクケーブルを締めて取付ける

取扱3:ピックアップケーブルを接続する

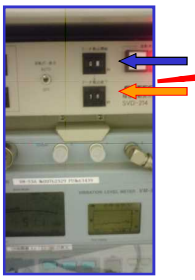
1)ピックアップケーブルをカバーのゴムに差し込みます

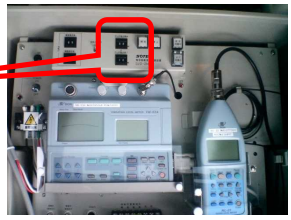
2)ピックアアップと接続します、締めて回して下さい

3)ピックアップカバーをかぶし、本体内部のピックアップ端子にピックアップケーブルをカッチと押し込んで取付ける

※ピックアップは本体扉内側に入れてあります

取扱4:タイマーをセットする





表示とデータの書込み時間をセットする

1)上のスイッチで開始時間をセット　“08で8時”

2)下のスイッチで終了時間をセット　“17で17時”

※毎日　この時刻の設定で繰り返し作動します

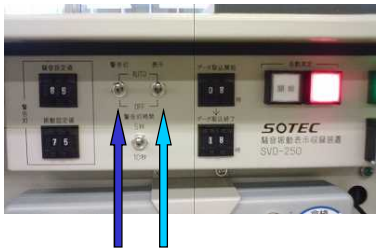
取扱5：自動表示に設定する

1）表示＆パトSWをAUTOにすれば、設定時間内であれば、動作手順に従い表示等の動作を行います

(時間外でしたら、翌日の時間になりましたら表示動作を行います)

2）表示と回転灯をOFFにしたい時、各々のSWをOFFにします

※日曜や休日の対応にご利用下さい



- 出荷時にレバーは自動になっております

取扱6：自動測定　開始－1

1）SVD215の電源SWを入れます

※ウォーミングアップ時　外部表示“88／88”を表示し、その後、内部の全てのランプが1分間点滅します。

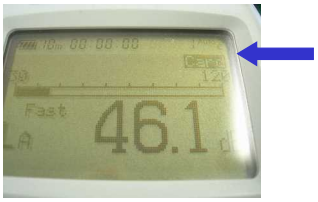
1-1）騒音計／振動計にメモリカードが入っているか、騒音計＆振動計の画面に“Card”を表示している事を確認します。

2）終了ランプ点灯、待機中ランプ点灯

※次の※0分の時刻まで

2-2）この間にSVD215のパネルの“初期化”ボタンを押します

※以前のデータを必ず消す



騒音計　NL21画面

取扱6：自動測定　開始－2

3）終了ランプ点灯、待機中ランプ点滅を
　開始し、外部表示開始します
　※次の※0分の時刻まで
4）“測定”ランプ点灯
　測定を開始します

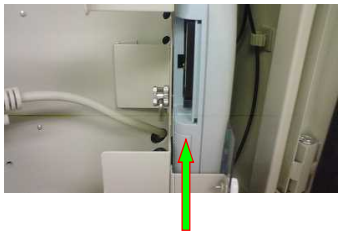
※電源、投入後すぐに外部表示しませんので、ご注意下さい。

振動計VM53A画面　“Card表示”確認

メモリカードを　“初期化”する

取扱7：測定終了／データカードの回収

1）自動測定中の確認
　測定ランプが点灯、
　“終了”SWを押し、
　“終了”ランプが点灯 確認
　（設定時間外では終了中ランプは点灯）
2）SVD215の電源SWをOFFにし、
　カードを抜きます
3）騒音計の固定止め具を外し、
　騒音計の裏から、カードを
　取り外します。
4）振動計もカードを取り外します



取扱８：データ処理

1）パソコンでCF（コンパクトフラッシュ）カード内のデータを処理します。
※パソコンがCFカードを接続できること
2）専用ソフトはUSBキーの動作認証キー付になっております
3）USBキーのドライバーソフトをインストールする。
4）付属の認証用USBキーをPCに差し込む
5）ソフトをインストールしてデータ処理をする。（※詳しくはソフトの取扱説明書をお読み下さい）

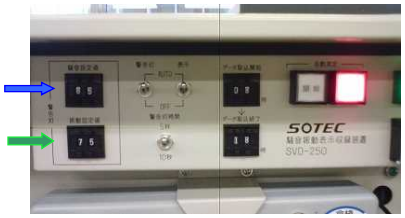
取扱９：カードを戻し初期化する

1）SVD215の電源SWをONにします
2）カードを騒音計／振動計に
各々　戻します
騒音計／振動計の画面に“card”表示を確認します
3）待機状態の確認
“終了”・“待機”中ランプが
各々　点灯中 であること
4）“初期化”ボタンを押す
5）初期化終了後、時間であれば
再度、自動測定＆表示を開始します（取扱５：参照）

取扱10：警報設定値のセット

回転灯の警報設定値は
2桁のディップスイッチで
設定されます
　出荷時の初期値は、
　　騒音：85dB
　　振動；75dB

お客様でも簡単に
変更可能です



取扱11：警報　回転灯作動時間の設定

回転灯の警報作動
時間の設定が
5／10秒から
選択出来ます。
※SVD214は10秒のみ

取扱12：　お願い

SVD214／215は計測機器であります。
電源AC100Vを専用に供給して、安定した電源
でご使用下さい。
同じ電源端子から、工事機器の電源を取られ、
電圧が低下して　表示やデータ収録　等
が正常に作動しない　ことがあります。